住宅改修が必要な理由書兼協議書

受付印	

<	其	太	恄	報
_	坐	7	18	+IX

	1 113 1164 5											
利	被保険者番号			年齢		明治 大正 昭和	年	月	田	性別	口男	口女
用	被保険者氏名			要介	護認定	定 要支	援		四	更介證	隻	
				(該	当にC)) 1•	2	経過	<u> </u>	1.2	•3•4	•5
者	住 所											
住:	宅の所有区分	□持ち家	□借家	□そ	·の他(,)		
施.	工予定業者名					着工予定	年月	日	令和	年	月	E

	現地確認日	令和 年 月 日
	作 成 日	令和 年 月 日
作	所属事業所	
	 資 格	□介護支援専門員
成	具 竹	□その他()
者	氏 名	
	連絡先	

保	確認日	令和	年	月	日	評
険	丘 夕					価
者	以 石					欄

<総合的状況>

	福祉用具の利用状況と住宅改修後の			
			改修前	改修後
	•	車いす		
利用者の身体状況		特殊寝台		
		床ずれ防止用具		
		体位変換器		
		手すり		
		スロープ		
		步行器		
A =++ 11: A=		歩行補助つえ		
介護状況		認知症老人徘徊感知機器		
		移動用リフト		
		腰掛便座 特殊尿器	╚	
		特殊成器__		l ∐
		入浴補助用具	H	▎ ٰ፟፟፟፟፟፟፟፟፟፟
住宅改修により利用者		簡易浴槽		
		その他	_	
等は日常生活をどう変				
えたいか			_	
	_			

○ 改修工事見積書 添付書類 ○ その他改修予定箇所の状態が確認できるもの(写真又は平面図等) ○ 承諾書(住宅所有者が当該利用者又はその家族でない場合は必ず添付)

住宅改修が必要な理由書兼協議書

<表面の「総合的状況」を踏まえて、①改善をしようとしている生活動作 ②具体的な困難な状況 ③改修目的と方針 ④改修項目を具体的に記入してください。> |※② ①の具体的な困難な状況を |※③ 改修目的・期待効果をチェックした上で改修の方針を |④ ひ修項目(改修箇所) 改善をしようしている 記入してください。 生活動作 記入してください。 □ トイレまでの移動 できなかったことを □ トイレ出入口の出入 できるようにする □ 手すりの取り付け (扉の開閉を含む) □ 転倒の防止、安全の確保 □ 便器からの立ち座り □ 動作の容易性の確保 (移乗を含む) □ 利用者の精神的負担や 口 衣服の着脱 不安の軽減 □ 排泄時の姿勢保持 □ 介護者の負担の軽減 □ その他(□ 後始末 □ その他(□ 浴室までの移動 できなかったことを □ 段差の解消 □ 衣服の着脱 できるようにする □ 浴室出入口の出入り □ 転倒の防止、安全の確保 (扉の開閉を含む) □ 動作の容易性の確保 入 □ 利用者の精神的負担や □ 浴室内での移動 (立ち座りを含む) 不安の軽減 □ 洗い場での姿勢保持 □ 介護者の負担の軽減 □ 引き戸等への扉の取替え (洗体・洗髪を含む) □ その他(□ 浴槽の出入り (立ち座りを含む) □ 浴槽内での姿勢保持 □ 便器の取替え □ その他(□ 出入口までの屋内移動 できなかったことを □ 上がりかまちの昇降 できるようにする □ 車いす等、装具の着脱 □ 転倒の防止、安全の確保 □ 履物の着脱 □ 動作の容易性の確保 □ 出入口の出入り □ 利用者の精神的負担や □ 滑り防止等のための床材の変更 (扉の開閉を含む) 不安の軽減 □ 出入口から敷地外まで □ 介護者の負担の軽減 の屋外移動 □ その他(□ その他(□ その他 できなかったことを そ できるようにする の □ 転倒の防止、安全の確保 他 □ 動作の容易性の確保 の □ 利用者の精神的負担や 活 不安の軽減 動 □ 介護者の負担の軽減 □ その他(

※②については(・・・なので・・・で困っている) ※③については(・・・することで・・・が改善できる)と記入してください。